

石川県内の企業・団体で働く

女性管理職のロールモデルにインタビュー！



特定非営利法人学童会つるぎ
理事長 東 聖子 さん

<プロフィール>

- ・アパレル販売員として勤務
結婚・出産を機に一度退職するも復職
- ・H29 学童保育を管理運営する NPO 法人を設立

Q 現在のお仕事について教えてください

A 白山市内にある3つの放課後児童クラブの運営をしています。

Q 今までのキャリアについて教えてください

A 元々は、アパレルの販売員として働いており、結婚・出産を機に一度退職しましたが、子どもが保育園に入ると同時に復職して勤務していました。その後、縁あって学童保育を管理・運営するNPO法人を立ち上げ、その理事長として現在に至っています。

NPO立ち上げの経緯ですが、当時、私の子どもが通っていた学童は、保護者がボランティアで運営しており、私も保護者会の会長という立場から学童の運営にも携わっていました。その後、私の子どもが中学校への進学を機に学童を卒業するタイミングが来て、いざ後任を探すこととなりましたが、担い手が誰も見つからず、周囲の保護者の方が困っている状況を見て、それなら今まで子どもがお世話になった恩返しとして、私が旗振り役となって今までの保護者会による運営ではなく、新しいスタイルの経営にしようかと、アパレルの仕事を辞めてNPOを設立しました。

困っている人を見たり誰かに頼られたりすると、放っておけない性格なんです。(笑)

Q 理事長と兼任で管理職の施設長としても働いていますが、管理職に就くことに抵抗はなかったですか？

A 実は、アパレルで働いていた時は管理職の打診を断っていました。当時は、管理職になったら家庭での時間が削られるし、やっぱり子どもの世話を最優先にしたかったのです。でも、学童を管理・運営するNPOを設立して理事長になると決断した背景には、自分の子どもはもちろん、やっぱり子どもが本当に好きだということもありますが、決定権を持ち、自分の思い・考えを実現したかったという気持ちがあります。



毎晩、アニメをみてリフレッシュしていると話す東さん。最近、「ダイヤのA」にハマっており、楽しみがあるからこそ、仕事も頑張れると笑顔で話してくれました。

Q 管理職になってよかったと思うこと・やりがいは？

A 自分の思いを実現させることができる点です。私が保護者として利用していた時に「こうだったらいいのにな」と感じていたこと等を踏まえ、利用料やスタッフの育成など根本から全部作り直し、改革しました。利用する保護者やスタッフの皆さんに改革を全面的に信用されるまでには、やはり数年かかりましたが、今では皆さんに周知され、ある程度信用・信頼されるところまできたのかなと感じています。

そして、管理職になると外部の色々な方と関わる機会が増え、交友関係が広がっていくのも魅力ですね。

Q 管理職としての難しさを感じる時はどんな時？

A 職場の人間関係ですね。実際、業務というのは、やり方次第で、例えば自分の苦手なところは得意な方をお願いするとかその逆をすることである程度進みますが、人と人の関わり方・人を育てるというのは、100 人いれば 100 通りの意見があるので、それをまとめて吸い上げるのが管理職の一番の苦労だと思います。世代間ギャップと言われるように、本当にあらゆるものにギャップがあると感じています。

また、最初のころは慣れない仕事と子育てとの両立で、子どもとの時間を確保するため、自分の時間や睡眠時間を削って頑張っていました。でも、やりたい事ができるという楽しさと、きっとママの頑張っている姿を見て、子どもも何か感じてくれていると思うと、あっという間に過ぎていきましたね。

そして管理職の難しさとして最後に 1 つ、後輩に良い姿を見せることですかね（笑）。

Q 最後に、県内の企業・団体で働く後輩へ一言メッセージをお願いします



スタッフの方からは、「話をよく聞いてくれて間違っていることも教えてくれる話しやすい上司です」という一言と、「でもずっとシャキシャキ働いて頑張りすぎじゃないかと少し心配なので、ゆっくり休みもって元気でいてくださいよ」との声も上がっていました。

A ぜひ、同じ社内の人でも、外部で知り合った人でも、自分になりたいと思う、目標となる人を見つけてください。そういう人がいると刺激を受け、自分ももっと頑張ろうという気持ちになると思います。

また、仕事を頑張るためには、自分の大事なもの・大好きなものを見つけることも大切です。仕事だけでなく、プライベートも両方を充実させている人の方が、仕事もきっと上手くいきます！